

いりえ

社内報いりえ
Vol.515

2023
7・8月号

株式会社 アステック入江
八幡支店



2023年 会社スローガン 漸進

【会社方針】
新生アステック入江
基盤づくりの推進

多
言
有
用

最近ではキャッシュレス決済の普及により、現金を使う機会がめっきり減った。しかしながら、日本の普及率はまだ30%台と、90%前後の韓国や中国と比べ大きく遅れている。この先更に普及していくだろうが、ほとんど現金が流通しない生活はまだ想像し難い。

英国では紙幣の肖像画がチャールズ国王になり、2024年半ばから流通する。日本でも偽造防止機能強化を目的とし、同時期に紙幣が一新される。一万円札は日本資本主義の父である渋沢栄一、五千円札は女性教育先駆者の津田梅子、千円札は予防医学の礎を築いた北里柴三郎が描かれる。現金には、その国の歴史や文化が反映されたものとしての価値もあり、存続し続けて欲しい。

さて、エネルギー価格の高騰や、新型コロナウイルス・ウクライナ危機によるサプライチェーン分断による世界的インフレ、他国通貨との金利差拡大等を背景に進んだ円安に見たように、お金の価値は世界情勢等外部環境により大きく左右されることを再認識させられた。

このような環境下、企業は様々な対応を迫られるが、「企業は国や社会の公益を追求しながら利益を得るべきであり、経済活動と道徳は常に一致している」という渋沢栄一の思想、現代のCSR（企業の社会的責任）に繋がる考え方は、変えてはならない価値観である。私たちは、このことに誠実に向き合い、承継していかなければならない。

(M・M)

社長・副社長激励声掛け・対話活動

現場第一線を意識した各階層での交流と対話

夏季特別活動の取り組みのひとつである社長・副社長による激励声掛け・対話活動は、八幡支店からスタートし、全事業所を計画的に遂行しました。今年も、激励対話活動を主とし、現場第一線作業者との絆を深め、お互いの価値観を理解することで、全員が同じ目標に向かって前進することを目的として活動しました。現場で働く作業者の皆さんとの風通しは深化し、この猛暑のなか元気はつらつとした姿が印象に残っております。これから厳しい残暑と相まって身体の疲れがピークを迎えてきますので、職場の仲間やご家族と共に乗り切っていきましょう。

激励声掛け・対話の様子



本社 夏季安全連絡会 各事業所の安全担当者が積極的に情報交換

今年も、新型コロナウイルス感染症の感染防止上の位置付けが5類に移行されたことを受け、各事業所より安全担当者14名に加え、当日飛び入りでのWEB参加者を交え、本社で夏季安全連絡会を開催しました。山田全社総括安全衛生管理者は、開会にあたり「本社含む各事業所間で、何でも言える雰囲気づくり・体制づくりに努めてきた。そのことを皆さんで共有・展開してほしい」と挨拶しました。連絡会は、取り組んでいる仕事や活動を改善するための振り返り方法のひとつであるKPT法を活用し、課題の共有や、改善すべき点を明確化することで、事業所毎の課題を整理できました。山田全社総括は、閉会の挨拶の中で「今年も休業以上の災害は発生していませんが、軽微な災害は昨年を若干上回るペースで発生しています。災害の要因はルール不遵守、KY・TBM不足などが主です。管理者・安全担当者は現場に出て、現物確認やオペレーターとの対話を行い、不安全要素があれば改善する活動をお願いします」と話されました。連絡会後の交流会（4年ぶり開催）も含め、情報を積極的に交換できた活発な会になりました。



本社会議風景

八幡支店

今週は何の週？2023

八幡支店は、今年に入り軽処置災害1件、不慮災害1件が発生しています。いずれもTBM、KY不足による不用意な行動に起因した災害です。一方、他所・他社においては、6則不遵守による重篤な災害も発生しています。そこで、夏季の暑さによる注意力が低下しがちでかつ熱中症リスクが高い時期にあたり、自分と仲間の身を守ることを意識した夏季安全活動に取り組みました。

(高木)

- ◆3つのキーワード
- *6則遵守と浸透強化
- *熱中症予防と重篤化防止
- *風通しのよい職場づくり

週間テーマ	安全ポイント	期間
家政婦は見た！週間	仕事の基本は6Sから 設備と職場ヒカビカ週間	5/29-6/4
ムービングウィーク	油圧/空圧/電気だけじゃない、自重でも動くぞ可動設備	6/5-6/11
コマネチ週間	手元/足元/無理な姿勢 落ち着けその方法は安全か？	6/12-6/18
ニュートン週間	万有引力はあなたにも 高所/開口部リスク排除の週	6/19-6/25
火山列島日本週間	高温溶融物！リスク大！作業の前に一呼吸週間	6/26-7/2
法の森人週間	6則+4則遵守中！抜き打ちチェックどんとこい週間	7/3-7/9
デンディ週間	着衣火災から仲間を守る！火元と服装・保護具点検週	7/10-7/16
ターザン週間	吊钩が揺れるぞ近づくな！愚直に実践3・3・3の週	7/17-7/23
ヒカチュウ週間	酸欠/電気/重機作業 見えない危険から身を守る週	7/24-7/30
どうぶつ森週間	あつまれ！やるぞTBM 更なるレベルアップの週	7/31-8/6

今週は何の週？2023 週間テーマ

光支店

納涼DAY

光支店は、今年の夏季ゼロ災害活動で納涼DAYを実施しました（7月12日～8月30日の毎週水曜日実施）。

内容は、11時～と14時～、15時～で現場の皆さんに事務所一階休憩所できき氷と冷凍バナナを振る舞うもの。かき氷は、シロップをかけてその重みに負けて下に落ちるほどフワフワ。冷凍バナナは練乳をかけてと、また違った感じの美味しさになり大好評でした。提供する側の私たちも、作る楽しさや現場の皆さんに喜んでもらえる機会に出会えたことが嬉しかったのですが、それ以上に、冷たいバナナを頬張り、「おいしかった。ありがとう」と言われ、英気を養われて現場に戻られる姿を見ると、小さな貢献が実感できて、幸せな気持ちになりました。現場の皆さんも私たちも、大いに共に楽しむことができました。良い納涼DAYとなりました。

(黒田)



かき氷を振る舞う

大分支店

熱中症予防

今年も6月1日から3カ月間の「製鋼部グループ夏季ゼロ災害活動」、7月1日からは九州製鉄所の「夏季ゼロ災害活動」が始まりました。

夏場の安全活動は何と言っても熱中症予防。大分支店ではDAKARA・PRO（Oカローリ）により今年から採用）と梅干し、塩タブレットとOS-1を早くから準備、熱中症予防に努めていました。しかし7月10日、協力会社の方が除草作業中に体調に変調を来したし救急搬送される事態となりました。あと15日での10年間熱中症無しの記録は途切れましたが、早期搬送により軽症で済んだことを不幸中の幸いと捉え、弱点克服を進め、安全体制を強固なものに変えていきます。（房前）



熱中症予防品

FM事業部

安全環境防災グループの新設で連携強化

ご安全に！ FM事業部では、今年の夏季特別活動より、熱中症予防飲料をOカローリの補給飲料に変更しています。加えて、各工場別で熱中症の教育及び対策を強化しています。特に響工場では、二次協力会社の熱中症強化月間を設け、日々熱中症指数の変化と作業者の声掛けを7・8月と継続実施中です。

また、今年6月1日よりFM安全環境防災グループが配置され、部内及び鉄関連事業の安全レベルの連携強化を進行中です。FM事業部では、災害級の気温や異常気象への環境変化に柔軟に対応できるようゼロ災害活動を継続し、長い夏を乗り切るための最大限の対策と予防を実施していきます。

(岩本)



事業部全体で熱中症教育を強化

セラミックス事業所

見回りを強化

「ご安全に！」今年も7月から本格活動期間の「夏季ゼロ災害活動」が始まりました。具体的な活動としては、工場内外の温度差が激しくなったので、見回りの強化を行いチェックシートに記録を付けていきます。見回りを午前午後1回は必ず行い、適宜休憩を挿むようにしていきます。体調不良者が無理に作業をして怪我をしないように見回っています。同時に安全違反をしていないかを見て回り、変わった所が無いか、不都合な所はないかなど、話し合いをしています。見回り活動以外にも、毎月のKYシートを初めTBMシートの活用や改善活動を行い災害ゼロの職場を作っていきます。

(谷村)



見回りの様子

PCB事業部

新体制における熱中症リスク増に備える

「ご安全に！」長い梅雨が明け、日増しに気温があがり猛暑日が続く日々となりました。

今年は直5名の新体制で迎える初めての夏。1人1人の作業負担も増え、また作業者の平均年齢も上がった分、これまで以上に熱中症リスクが高くなります。まずは作業の優先順位を明確にした作業指示により、作業時間管理の徹底とともに、安全管理者として特に作業前の水分・塩分補給を促す声掛けを密に行っていきます。また、現場との対話から、いま必要としている物の情報収集をしっかり行い、熱中症対策グッズの有効活用にも取り組んでいきます。

(二宮)



空調服を着用しての作業

全社

全社夏季安全誓願祭

6月30日(金)、豊山八幡神社において恒例の安全誓願祭を斎行し、直協従業員及びご家族の健康と安全を祈願しました。祭主の入江社長が、全従業員の安寧と社業の弥栄を祈願し玉串を捧げられ、続いて山地全社総括安全衛生管理者、箇所代表者、労働組合長の順でそれぞれ玉串を捧げられました。山地全社総括の挨拶では、今年前半の振り返りと課題を説明し「現場・管理者が一体となり、本社と各事業所が連携をとることで、改善活動を推進させましょう」と幹部の皆さんに決意を促しました。最後に、「基本行動に徹し、無災害職場の実現と活性化で暑い夏を乗り越えましょう」と参列者全員で唱和して誓願祭を終りました。

(永井)



パッチリ唱和で決意新たに

八幡支店

長期安全記録賞表彰

6月22日(木)、八幡支店において長期安全記録賞第三種年間無災害達成の表彰式が行われ、入江社長より表彰状が授与されました。この賞は、2020年6月3日から2023年6月2日までの第三種年間無災害目標日数の達成が評価されたもので、設備G1工作係 木寺班長が代表で受け取りました。今後もTBM・6S強化・風通しの良い職場への改善を実践し、緊張感維持と災害発生防止に取り組んでいきます。

(高木)



表彰状を受け取った木寺班長

営業統括部発足による新生営業活動

「ご安全に！」6月より営業統括部が発足しました。この度の営業部門統合は、顧客情報の共有や業務の効率化などを行うとともに、クロス営業を行うことで、既存商材の拡大並びに新規事業・新商品発案のチャンスを広げていくことを目的としております。新たな組織は、旧営業部並びにFM事業部のメンバーによる編成で、営業企画室、ロジスティック管理室、技術サポート室から成り、これら3つの組織で運営することで、お客さまへのサービス提供体制の強化をはかって参ります。

営業統括部発足後は、各種商材に関する勉強会を行い、8月からエリア別に設定した営業担当者をベースに、クロス営業を本格化させているところです。その成果もあって、クロス営業につながるような案件やクロス営業による実績が出つつある商材もあり、新たな船出に期待が高まるところです。

(小森)

会社案内を全面刷新

この度、会社案内パンフレットを全面リニューアルいたしました。

新しいパンフレットは、白をベースに当社のコーポレートカラーの「ブルー」を推し色とし、すっきりとしたデザインに仕上げました。表紙は、会社ロゴマークをモチーフにデザインし、光輝く波に乗りながら新たな歴史を描く様をゴールドのラ



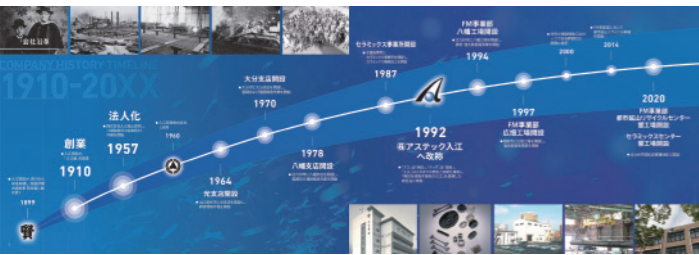
新しい会社案内の表紙

インで表現しました。

パンフレットのページ構成は、社長挨拶、社是・経営理念、会社沿革などに続き、事業内容をコンパクトに説明させて頂いております。会社沿革のページでは、お客様に100年を超える当社の長い歴史に「安心感」と「安定感」を感じていただけるよう、創業から現在に至るまでの軌跡を見開きのページで表現いたしました。事業内容のページでは、当社の事業発展の起点となった鉄事業の紹介に始まり、その鉄事業から派生した環境・リサイクル事業へと展開するページ構成とすることで、進歩し続けることの意義を表現いたしました。

パンフレットは、本社事業部門、各支店、事業所には配布済みです。当社を知っていただくための営業ツールとしてはもちろん、視覚的にも分かりやすい事業紹介となっておりますので、社員の皆さんもぜひ一度、手に取って歴史を感じていただき、新しいエネルギーに変えていただけましたら幸いです。

(稲波)



会社沿革は見開きのページで表現



事業紹介も視覚的にわかりやすく一新

新生

【第四回】営業活動

この企画ではテーマや分野別に、「新生アステック入江」において課題解決や成長に向けて推進していく活動計画等について掲載します。第四回は営業活動について取り上げます。

本社 RKB「志、情熱企業」放映
入江社長、志を語る

7月8日(土) 18時50分より放送されたRKB毎日放送「西日本シティ銀行Presents 志、情熱企業」に入江社長が出演いたしました。この番組は、福岡をはじめとする九州各地で活躍する大きな志を持った企業のトップを特集するものです。収録は5月16日(火)に本社で行われ、社長は「信頼」額の前で、創業からの歩みを振り返られました。インタビューの中で当社は創業から今日に至るまで、信頼を大切にしてきたからこそ、鉄事業を軸にして成長できた



インタビューに応じる入江社長

本社 みずほ銀行福岡法人第一部様来社
当社の技術力、チャレンジ姿勢を評価いただく

6月27日(火)、みずほ銀行福岡法人第一部様(夏井部長様、他3名様)に来社いただき、工場見学を実施いたしました。日本製鉄(株)九州製鉄所八幡地区内にある八幡支店では、日本製鉄から請け負っている鉄づくりの現場を製造工程の流れに沿ってご見学いただき、響工場では金や銅の回収実験、アステックシステムによる電子部品の自動選別、セラミックスの加工現場をご見学いただきました。夏井部長様より「八幡支店では、世界有数の高品質を誇る九州製鉄所における製鉄工程の重要な部分を担われている技術力及び日本製鉄様との結び付きの強さを実感することができ、FM事業部では独自の技術やこれまで培ったノウハウを活かした新たなビジネスへのチャレンジ姿勢、環境への取



上段左から 水城部長、入江社長、玉村副部長様、夏井部長様、堺課長様、井上部長、小森室長、松田グループリーダー
下段左から 阿部様、古西工場長、水江マネジャー



響工場見学の様子

(野畑)

八幡支店 若松高校工場見学
鉄づくりにも少しでも興味を

7月7日(金)、福岡県立若松高等学校の2年生34名が八幡支店の工場を見学しました。今回の工場見学は、若松高校のキャリア教育の一環として実施されたものです。

当日は非常に激しい大雨でしたが、生徒の皆さんは初めて見る大きな建屋や設備に興味津々の様子で、案内者の説明を熱心に聞き入っていました。また、製鋼工場や鍋センターの現場見学では、クレーンのけたたしいサイレンや溶けた鉄の熱さにもかなり刺激を受けているようでした。

八幡支店においては、このように大勢の皆さんを集めて工場見学を行うのは初めての試みでしたが、社員の皆さんの協力のもと無事に執り行うことができました。準備から実施までご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。そして、今回の経験で、生徒の皆さんが少しでも鉄づくりに興味をもっていただければ幸いです。

(大西)



説明する梶原支店長代理(左)

FM事業部 北九州市環境水道常任委員会来訪
SDGs未来都市に
ふさわしい環境政策

7月12日(水)、北九州市環境水道常任委員会の皆さん7名が、FM事業部都市鉱山リサイクルセンター響工場を視察されました。

最初に座学として事業紹介を行いました。今回の現地視察は「SDGs未来都市にふさわしい環境政策の推進について」がテーマだったので、都市鉱山事業など、弊社のSDGsへの取り組みを紹介しました。

その後、金及び銅の回収実験、都市鉱山工場の見学を行いました。皆さんかなり興味を持ちながら視察されており、見学終了後も多くの質問や、お褒めの言葉をいただきました。

弊社は、今後も北九州市との連携を強化し、さらなる社会的知名度向上と、リサイクル社会発展に寄与できるように、ますます努力していかねばならないと感じました。

(砂川)



環境水道常任委員会の皆さん



金属の回収実験は人気です

PCB事業部 前川慶輔さん
安全週間標語 最優秀賞受賞

最後の一年終わるまで
ルールの順守を忘れない
完遂目指して気を抜くな

ご安全に！ この度北九州環境プラントサービス様の全国安全週間標語公募にて、最優秀賞を受賞しました。PCB汚染物の処理期限が迫る中、焦ることなく安全ルールを遵守するという思いから、この標語を作成しました。

一つ一つの作業を、慣れ合うことなく緊張感を持って取り組むと共に、有期限事業を最後まで安全に完遂していけるよう、努力していきます。また同時に、上野係長が優良賞を受賞しました。

PCB事業部のメンバー一人ひとりが頑張っていることを評価していただき、大変うれしく思います。これからもその評価に恥じぬよう、安全作業に努めていきます。

(前川)



北九州環境プラントサービス: 楠社長(右)と前川さん

八幡支店

QJK所内大会での発表

6月14日(水)、QJK所内大会に大抜擢され参加しました。100名近くの人を前に発表する機会などなかなかないため大変緊張しました。苦勞した半面、得るものも多く非常に勉強になりました。入社2年目でJK経験の浅い私ですが、アシスタントの前田さんをはじめサークル員の皆さん、作業長から色々ご指導いただきました。本当にありがとうございました。また、発表後に、工場長や局田課長、大村係長など多くの方々に「落ち着いた大変素晴らしい発表だった」と声を掛けていただいたのがとてもうれしかったです。最後になりましたが、QJK所内大会開催にご尽力いただいたYJK連合会や支援者の皆様に深くお礼申し上げます。今回の貴重な経験を今後の改善活動に生かし、「より安全な・働きやすい職場作り」に取り組んでいきます。ご安全に!

(小島)

発表を行った小島さん



光支店

都市対抗野球大会中国地区予選

日鉄ステンレス硬式野球部は、6月3日(土)から第94回都市対抗野球大会中国地区二次予選(倉敷マスカットスタジアム)に出場しました。光支店安全環境防災Gr所属の黒田君も4番ファースト、チームの主砲として出場しました。今年から本格的に応援部も発足し力強い応援の中、熱戦を繰り広げました。残念ながら全国都市対抗野球大会への出場には届きませんでした。次を期待させるすばらしい試合でした。9月14日(木)から始まる第48回社会人野球日本選手権大会での活躍に期待!

(古川)



黒田選手と応援部の皆さん

倉敷での応援隊より

「練習大変だと思うけどガンバレ!」(古川)

「メジャーリーグのスカウトの目に留まる活躍を期待しています」(河内山)

「次も最高のパフォーマンス期待してるよ!」(谷泉)



SDGs推進プロジェクト

vol.9

わたしたちのSDGs



各事業部の活動紹介 ⑤セラミックス事業所堺工場

当社におけるSDGs活動について各事業部より報告しております。今回は堺工場における取り組み計画を紹介いたします。

セラミックス事業所堺工場 SDGsの取り組み

①スタッフ定着率の向上

退職者が頻出すると技能継承が滞るだけでなく、社員のモチベーションの低下により、さらに離職者を増やしてしまいます。従って、離職者を増やさないために、労働環境の改善や社員同士のコミュニケーションを活発にし、若手も積極的に意見を出せる職場を作り、個人と会社の成長につなげて行きます。

8

働きがいも
経済成長も

②女性社員比率の上昇

女性社員比率の向上は、優秀な社員の確保や新たな視点を取り入れる事が出来るなどのメリットがあります。会社として成長するには女性の力も必ず必要になりますので、積極的に女性採用をしていき、ジェンダー平等の職場を目指していきます。

5

ジェンダー平等を
実現しよう

これらの取り組みは、長期的に継続して初めて意味を成すことです。毎年継続していく中で改善を重ね、より高いレベルで活動を維持できる様に取り組んでいきます。

(谷村)